

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式					
		メディカルキャリアデザイン (Medical career design)					臨床医工学コース専門分野	対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態					
選択		4	医学部先進医療科学科	通年	他	日本語		複数(共同)					
担当教員	氏名 丹下 佳洋、道越 淳一、梅田 涼平 E-mail ytange@oita-u.ac.jp 内線 6256												
授業の概要	臨床工学技士として第一線で活躍する臨床工学技士を招き、キャリア選択の経験、各分野の現状や将来展望や臨床工学技士の業務範囲及び学術範囲について理解を深め、臨床工学技士の国家試験の合格に向けた対策として模擬試験を繰り返し、臨床工学に関わる知識を定着させる。												
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 自身の考えをまとめることができる。													
目標2 臨床工学技士の業務範囲について説明できる。													
目標3 臨床工学の学術的な範囲を理解する。													
目標4 自身のキャリアパスを計画できる。													
目標5 学生同士で自身のキャリアについて議論ができる。													
目標6													
目標7													
目標8													
目標9													
目標10													
各DPへの関連度(計10)							3	2	3	2			
授業の内容													
1 オリエンテーション、マインドマップ練習：いくつかの例題に対してマインドマップを作成する。[課題1]													
2 臨床工学技士とはなにか：2つのグループに分かれ学生同士ブレインストーミングを行い、意見をまとめる。													
3 臨床工学技士とはなにか：2つのグループ間で学生によるプレゼンテーションおよび、討論を行う。[課題2]													
4 現役臨床工学技士の話聞く：外部の臨床工学技士を招待し講演を行う。[課題3]													
5 臨床工学技士の業務範囲について：国家試験問題を用いて情報収集およびグループごとに ディスカッション													
6 臨床工学技士の業務範囲について：国家試験問題を用いて情報収集およびグループごとに ディスカッション													
7 臨床工学技士の業務範囲について：国家試験問題を用いて情報収集およびグループごとに ディスカッション													
8 臨床工学技士の学術範囲について：臨床工学技士の臨床研究を用いてグループごとに ディスカッション													
9 臨床工学技士の学術範囲について：臨床工学技士の臨床研究を用いてグループごとに ディスカッション													
10 臨床工学技士の学術範囲について：臨床工学技士の臨床研究を用いてグループごとに ディスカッション													
11 臨床工学技士の業務範囲・学術範囲について：これまでに収集した情報を用いてグループごとにプレゼンテーションおよび、討議[課題4]													
12 臨床工学技士のキャリアパスについて：卒後のキャリア形成について講義を行う[課題5]													
13 臨床工学技士のキャリアパスについて：臨床工学技士のキャリア形成についてグループごとに ディスカッション													
14 臨床工学技士のキャリアパスについて：臨床工学技士のキャリア形成についてグループごとに ディスカッションした内容についてプレゼンテーションおよび討議[課題6]													
15 総まとめ													
ラーニング	A:知識の定着・確認	A:調べ学習、傍聴					工 夫 そ の 他 の	学生同士のディスカッション中心とした授業構成、事例の提示					
	B:意見の表現・交換	B:マインドマップ、プレゼンテーション、ディスカッション、ブレインストーミング											
	C:応用志向	C:シナリオ、事例検討											
	D:知識の活用・創造												
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	グループディスカッションの準備(10h)、プレゼンテーション準備(20h)											
	事後学修	マインドマップ作成(10h)、レポート作成(28h)											
	想定時間合計	68											
教科書	教科書は指定しない。												
参考書	参考書は指定しない。												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	マインドマップ[課題1]	10%										
	臨床工学技士について（プレゼンテーション）[課題2]	10%										
	現役臨床工学技士の講演を聞いて（レポート）[課題3]	20%										
	臨床工学技士の業務及び学術範囲について（プレゼンテーション）[課題4]	20%										
	自身のキャリアパスについて（レポート）[課題5]	20%										
	臨床工学技士のキャリアパスについて（プレゼンテーション）[課題6]	20%										
注意事項												
備考	プレゼンテーションを行うためノートパソコンを準備											
リンク	URL											
担当教員の実務経験の有無												
教員の実務経験	臨床工学技士											
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無												
教員以外で指導に関わる実務経験者	臨床工学技士、大学教員											
実務経験をいかした教育内容	臨床工学技士の業務経験をもとにした、キャリアや知識をもとに学生指導を行う。											